

高槻地域の特徴

八幡東区の高槻地域は、竹林や山に囲まれた自然豊かな地域です。春から夏にかけては桜やホタルを見ることができるほか、猪倉などの一部の地域では蕎麦や野菜の栽培がおこなわれています。

中心部にはバスが通っており、バス通り沿いの中畑は平地ですが、その他の地区は急な坂が多い地形となっています。

また、北九州市の高齢化率を大幅に上回るなど、高齢化がとて進行した地域となっています。

買い物環境に関する課題

高齢化率が高く、急坂が多い高槻地域では、買い物帰りの高齢者が坂道で転んだり、重い荷物を抱えたままバス降車口の段差をうまく降りることができなかつたりすることがありました。

さらに、一人暮らしの高齢者が多いうえ、大型のスーパーは近所に一軒しかないなど、高齢者にとって、日々の買い物の負担が大きく、地域における買い物支援活動が望まれていました。



買い物支援について

このような問題を解決するため、「わいわい市場たかつき」では朝市と移動販売による買い物支援を実施しています。

「わいわい市場たかつき」とは、高齢者の様々な生活支援を行っているボランティア団体です。参加メンバーは約20名程度で、“できるときに、できる範囲で”活動を行っています。

活動日は月曜日と火曜日の週2日で、朝市と移動販売を実施しています。

販売しているのは、野菜や卵、牛乳、豆腐などの食料品や生花などで、これらの商品は、「わいわい市場たかつき」の代表、村田さんがこだわって選んだものばかりです。商品はすべて、「わいわい市場たかつき」の活動内容に賛同した地元の販売店が、直接配達してくれています。

配達された商品は、地元の大学生の協力を得て仕分けされ、朝市で販売されます。会場である中畑年長者いきいの家には朝早くから多くの利用者やボランティアが集まり、買い物だけでなく、交流の場としてもにぎわいを見せています。

朝市が終わる11時頃から商品をトラックに移動させ、12時頃に移動販売へ出発します。移動販売時には、鮮魚店やパン屋

の移動販売車が合流することもあり、利用者は幅広いラインナップから好きなものを選ぶことができます。

週に2日の移動販売ですが、月曜日と火曜日では、ルートを変えて実施しています。月曜日は個人宅を中心に、火曜日は傾斜地から平地にかけて施設等を中心に、住民からの希望のあった場所を回ることとしています。

朝市と移動販売を合わせて、100名程度の方が買い物に訪れ、一人暮らしの高齢者から施設で働く方々まで、様々な方の暮らしを支えています。

そんな「わいわい市場たかつき」ですが、活動者の高齢化などの課題も抱えています。

約20名いるボランティアのメンバーは、入れ替わりながら活動を実施してきましたが、だんだん人を集めることが難しくなってきたといいます。現在は、ボランティア文化の根付いた地域の特性を生かして、知り合いに声をかけながらメンバーを募集しているそうです。

工夫ポイント

移動販売車が地域を回る際にはスピーカーで呼びかけを行います。多くの方に移動販売の実施を知ってもらえるだけでなく、利用者が移動販売日を忘れてしまう心配がないため、安心して買い物することができます。



買い物支援開始の経緯

買い物支援活動がスタートしたのは、今から10年以上前の2012年頃です。買い物に困っていた高齢者を支援するため、高齢者サロンで野菜の販売を始めたことがきっかけでした。

この取り組みとは別に、市内の大学生が行っていた、地域住民とのふれあいを目的にした野菜の訪問販売とコラボするようになった頃、この取り組みを知った市内の高校生からの「手伝いたい」という声を受け、大学生・高校生と一緒に、月に2回程度屋外での野菜の販売を行うようになりました。

さらに、高校生の「移動販売をしてみたい」という希望に応える形で、移動販売をスタートすることになりました。

今でも、地元の大学生との交流は続いており、配達された商品の仕分けのほかにも、竹林の整備や、空き家のリノベーションなど、力を合わせて地域の活性化に取り組んでいます。



朝市の様子②

ボランティアにご協力いただいているのは、北九州市立大学地域創生学群の猪倉実習の学生さんたちです！



移動販売車での買い物の様子



中原いこいの家

今後の展望

10年以上にわたって、高齢者の生活を支えてきた「わいわい市場たかつき」ですが、これからも活動を拡大させ、更なる支援に取り組むと考えています。2024年1月にはNPO法人を設立し、より本格的な生活支援活動に取り組んでいます。

現在は、買い物支援のほかに空き家のリノベーションを行い、高齢者の「居場所づくり」にも取り組んでいます。また、竹林でのタケノコの栽培や空き地を利用したブルーベリーの栽培にも挑戦しており、将来的にはその販売収益を活動費として活用したいと考えています。

最終的な目標は、地域に住んでいる方たちが、お互いに支え合いながら、住み馴れた地域で暮らし続けられる環境をつくることです。そのためには、地域団体はもちろん、若い世代の意見も取り入れ、協力しあいながら活動していくことが必要不可欠です。

今後も、高槻地域で生活するすべての人の暮らしをより良いものにしていくため、「できない理由」ではなく、「どうすればできるようになるのか」を考えながら、様々な生活支援活動に取り組んでいきます。



リノベーションされた空き家



ボランティア
津森 正人さん

NPO法人
わいわいたかつき
理事長
村田 勝司さん

